シリーズ 未来へ届け！

～三方小学校～

自分達の町を自分達の手で！！

５月２８日に縄文ロマンパークで「地域清掃活動」を行いました。今年も校区の40数名の方が協力を申し出て下さり、公園内のドングリを植樹した築山の草取り作業を一緒に行いました。

この取り組みは、児童が自分たちが住み、普段お世話になっている地域を自分たちの手できれいにしようと考え、町外や県外から多くの観光客が訪れる夏の観光シーズンを前に、「若狭町ってきれいだね」と言われるように、また自分たちの地域に一層誇りを持てるようにと始めたものです。

当日は、１年生から６年生までの児童１２０数名が、地域の方々の支援を受けながら、集中して作業を進めました。約１時間の作業で、築山のコナラやスダジイなどの木々の根元はすっきりしました。

「すっきりした」とか「楽しかった」とか、児童は自分たちの取り組みに満足できたようです。上級生は下級生をうまくリードし、絆が一層深まりました。また、参加された地域の方々も児童の熱心な仕事ぶりに目を細めていました。

ふれあいネットワーク
社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会
〒919-1541　福井県三方上中郡若狭町市場18-18　TEL0770-62-9005　FAX0770-62-1725
URL　http://www.w-shakyo.or.jp　E-mail　honbu@w-shakyo.or.jp

Vol. 16
2010年
6月23日発行

わかさ社協だより

表紙　三方小学校体育大会での三世代交流玉入れの様子

特集　地域福祉活動計画を策定します
小地域福祉活動推進セミナー「広がるご近所福祉」

地域福祉活動計画（平成23年度～27年度）を策定します

社会情勢がめまぐるしく変化している中、高齢者や児童等社会的弱者が抱える生活上の課題が複雑多様化しています。

また、少子高齢社会の一層の進展、核家族化の進行などにより、家庭内における介護力の低下や地域の支え合う力が弱くなるなど、地域での見守り、支え合い活動がより重要になってきています。

福祉サービスにおいても、従来の選別的・画一的サービスからニーズに対応する普遍的・選択的サービスへの転換が求められ、平成１２年４月の介護保険制度の発足を契機として、従来の措置によるサービスから契約によるサービスとなり、個人の尊厳を尊重し、その人らしく自立した生活を送るという考え方が定着してきています。

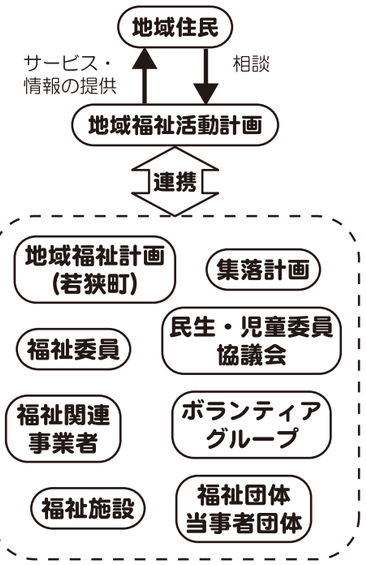
一方ボランティアやＮＰＯ法人などの住民活動が活発化しつつあり、これまでの福祉サービスでは対応が十分できなかった個別ニーズに対しても、徐々に対応できるような仕組みづくりがされつつあります。

また、自然災害等を含む大規模災害への備えが課題となっており、高齢者、障がい者等社会的な支援が必要な方々に対する対応が必要となっています。

こうした状況に対して、社会福祉協議会が住民の皆さんや各関係機関とともに、中期的な事業運営の指針として策定するのが地域福祉活動計画です。若狭町社協においては、平成２０年度から２２年度までの計画について現在遂行中ですが、今回は平成２３年度から２７年度までの５ヵ年を期間として計画を策定する予定で現在準備を進めています。

計画の策定にあたり、ご意見ご要望等お寄せいただき、少しでも住民の皆さんの声が反映できますよう努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

なお、策定した計画書のダイジェスト版を全戸配布させていただく予定となっていますので、ぜひご覧ください。



声をかたちに

小地域福祉活動推進セミナー「広がるご近所福祉」

5月30日（日）ショッピングセンターレピア２階ホールにて、小地域福祉活動推進セミナー「広がるご近所福祉」を開催しました。当日は、区長・民生委員・福祉委員・ボランティア・サロン世話役等を中心に約170名の方が参加されました。

今回のセミナーは、地域活性化の一例として全国的に注目を集め、内閣総理大臣賞など数々の賞を受賞している鹿児島県の集落「やねだん」より、町内会長の豊重哲郎氏を招き講演をしていただきました。

演題 やる気をおこせば必ず「きせき」が起きる！

「感動があるから継続できる！感動で人が変わる！」「活きた福祉（直接的な支援）だけやっていてもだめ。文化向上がなければ本当の福祉にはならない」

講演の中で、豊重さんが話す言葉は魂のこもった体験談でした。「福祉＝支援ではない」「集落には補欠はいない。みんなレギュラー」人口３００人、65歳以上が4割。どこにでもあるような、さびれゆく過疎高齢化の柳谷集落「やねだん」は、このような考え方を信念に、集落の財産＝人を活かし、ユニークな事業に次々と取り組み、自主財源を増やし福祉や教育、文化を向上させることで、集落の住民が感動し、集落みんなに笑顔があふれ、さらに協力するようになったそうです。

お話の中で、そこに住む住民の変化、苦労話や感動のお話、自主財源を作り出す必要性について、魂をぶつけるように

お話しされた豊重さんに、会場にいる人たちの心は動かされ、自分の集落でも何かできるのではないかと考えた人も少なくなかったのではないでしょうか。

またその後、小地域福祉活動推進モデル集落の３集落のみなさんにも事例発表を行っていただき、昨年度１年間の取り組みや、今後の取り組みなど、熱い思いを発表

いただきました。ここでも豊重さんから独自のアイデアや自主財源を作り出す可能性など、発表者にとっても参加者にとっても、参考となるアドバイスや心強いエールを送っていただきました。

今年度のモデル集落を募集しました（締め切り間近！！）

講演会、事例発表の後、平成２２年度の小地域福祉活動推進モデル集落についても募集しました。このモデル事業は、昨年度より小地域福祉活動が住民主体の継続した活動として取り組まれるよう、社協と集落が協働で集落にあった取り組みを検討し、３年間のモデル指定期間中に新たな活動を作り出すことを目的に実施するもので、６月３０日（水）が申請期限となっています。（助成金：年間上限１０万円、３年間指定）

若狭町では、５月に各集落で集落計画が完成し、ソフト面の課題やその取り組みをたくさんの集落で描いていただきました。若狭町社協では、その計画に関わっていただいた皆さんがこのセミナーに参加したことで、少しでも今後の集落活動のヒントになればと願っています。また、モデル事業を始め様々な事業を通して住民主体の集落活動を応援していきたいと考えています。

若狭町社会福祉協議会は「みんなが支え合い、すべての人が幸せを感じられる、心地よい地域づくり」をめざしています

平成２２年度

新組織体制

（敬称略・順不同）

地　域　住　民（社協会員）

評議員　３０名　【任期　平成２２年４月１日から平成２４年３月３１日まで】

所　属	氏名	集落名	所　属	氏名	集落名	所　属	氏名	集落名
民生委員協議会	日置　孝雄	能登野	ボランティア	長塚さか江	白屋	ＰＴＡ連合会	安部　憲二	朝霧
民生委員協議会	山下　文子	横渡	ボランティア	大福　浩剛	堤	ＰＴＡ連合会	千田　勝	鳥浜
民生委員協議会	古川　昭治	三宅	保護司会	井関　和明	東黒田	子供会育成会	塚原　利夫	横渡
民生委員協議会	小林まさ子	大鳥羽	保護司会	杉谷　正美	脇袋	子供会育成会	吉村　真二	三生野
区長会	竹内小太衛	海士坂	農漁協	河原　武教	兼田	母子福祉協議会	和多田きぬ枝	気山
区長会	深川　秀夫	梅ケ原	農漁協	安原　博之	小川	母子福祉協議会	武田　恵子	上野木
老人クラブ	高橋　善正	岩屋	商工関係	雨森　登	市場	身体障害者協会	岩本登巳雄	伊良積
老人クラブ	畠中　忠弘	大鳥羽	商工関係	岡　伊三郎	生倉	身体障害者協会	河原　利明	天徳寺
女性の会	松宮　豊美	大鳥羽	婦人福祉協議会	竹内　成子	海士坂	社会福祉施設	栗駒　辰子	世久見
女性の会	千田　敏子	鳥浜	婦人福祉協議会	河原　政枝	向笠	社会福祉施設	山田　善一	三宅

理事　１３名　【任期　平成２１年４月１５日から平成２３年３月３１日まで】

会長　塚本　新一（仮屋：地域代表）　副会長　岩本　勲（南前川：地域代表）

役職名	氏　名	集落名	選出区分	役職名	氏　名	集落名	選出区分
理事	大上　信雄	三田	地域代表	理事	和多田俊子	気山	地域代表
	岡上　角衛	下夕中	地域代表		山田ミチ子	倉見	地域代表
	西野　信治	新道	地域代表		原田　義勝	長江	民生委員協議会代表
	橋本　信文	中野木	地域代表		福谷　洋	三田	議会代表
	呉林　美徳	向笠	地域代表		澤　喜代志	上黒田	行政代表
	井口　隆夫	成出	地域代表				

※ 若狭町共同募金委員会 運営委員兼任

監事　２名

【任期　平成２１年４月１５日から平成２３年３月３１日まで】

氏　名	集落名	選出区分
松井　良平	小原	地域代表
山形　晃	（敦賀市）	学識者

※ 若狭町共同募金委員会 監事兼任

職員組織体制

平成22年6月1日現在

事務局長　田中　文明

事務局次長　今井ひろみ

法人本部：パレア若狭

職員	74名
パート	82名
契約	6名
計	162名

■法人運営事業　２名

パレア若狭事業所

所長　今川　政之

- ■地域福祉事業　６名
- ■生活支援ハウス リラクゼーション施設　４名
- ■食事サービス事業　７名
- ■デイサービスセンター パレア若狭　１８名
- ■居宅介護支援事業所 パレア若狭　７名

いずみ事業所

所長　田辺　隆明

- ■地域福祉事業　４名
- ■葬祭事業　３名
- ■ホームヘルプサービス いずみ　２３名
- ■訪問入浴介護事業所　６名
- ■デイサービスセンター いずみ　１８名
- ■訪問看護ステーション美方　６名

五湖の郷事業所

所長　清水　武久

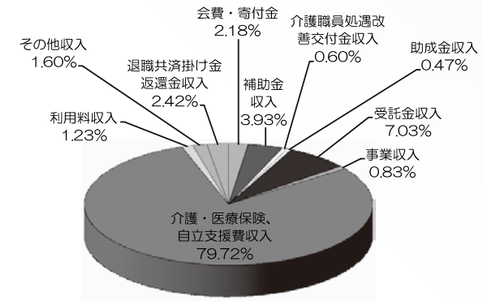
- ■食事サービス事業　５名
- ■デイサービスセンター 五湖の郷　９名
- ■障がい者日中活動支援事業 五湖の郷　地域福祉事業　２名
- ■特別養護老人ホーム 五湖の郷　２８名
- ■障がい者ケアホーム 五湖の郷　９名

決算と予算

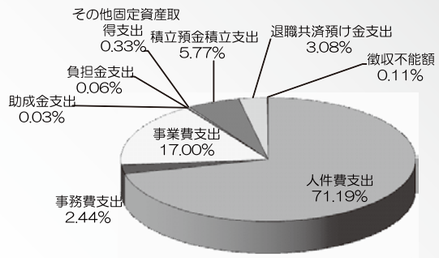
資金収支計算書より

平成21年度決算

（収入）　決算額：578,431,451円



（支出）　決算額：573,387,771円



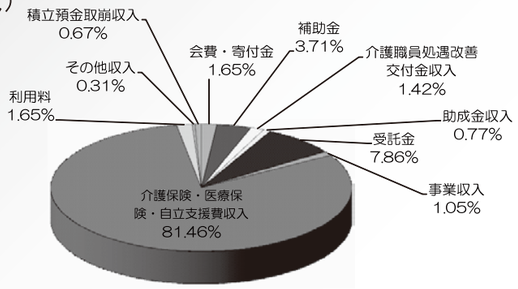
※２１年度は障がい部門、デイサービスセンターやすらぎ、食事サービス事業の運営体制の見直しをしました。

平成22年度予算

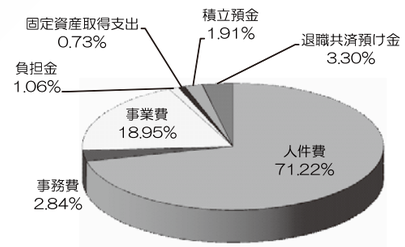
資金収支予算書より

予算総額：611,877,000円

（収入）



（支出）予算額：603,329,000円



※２２年度も効率的運営を図り健全経営に努力します。
新規事業として霊柩車運転業務を町からの委託で始めました。また、基金を活用していずみ事業所に車庫を新設します。

ご報告　21年度会費の使い道

お預かりした会費　３，９２９，５８０円

会費1,000円の使いみち

こんな事業に	これくらいの割合で	こんな費用に
まごころ給食（独居、老人世帯を対象に６５０円の利用料でボランティアの協力をいただいて自宅まで昼食弁当を届けています）	348円	事務費 8.1% 運営費 67.6% 衛生管理費 24.3%
介護予防拠点施設地域活動	122円	事務費 15.5% 運営費 84.5%
地域サロン事業（斎場無料送迎バス・地域サロン）	39円	運営管理費（ガソリン・車両費）
広報活動（社協だより・地域活動紹介リーフレット・弔電）	254円	印刷製本費 54.2% 通信運搬費 45.8%
地域福祉事業　運営費（地域福祉活動拠点運営費）	237円	車両燃料費 13.3% 水道光熱費 86.7%

社会福祉協議会の自主財源のひとつである会費を使って地域福祉事業を行っています。

まちのボランティアさん紹介 Volunteer

このコーナーは、私たちの地域で活躍されているボランティアさんを紹介します。

若狭町日赤奉仕団のみなさん

≪平成22年度　委員長　山田ミチ子さんのお話≫

若狭町には日赤奉仕団の団員が1,100人ほどいらっしゃいます。地域での奉仕活動や、災害時の救援スタッフとしての訓練、家庭介護法や救急法を学びます。町内の多くの方々に献血を呼びかけることも大きな活動の一つです。

5月18日は五湖の郷と、レイクヒルズ美方病院周辺の草刈り奉仕をしました。皆さんそれぞれにお忙しい中を多くの団員さんが参加されました。

広い施設周辺を、草刈り機を勇ましく操作される方々。その傍らでツツジの咲き誇る花壇の隙間を慣れた手つきで丁寧にすっきり草むしりされる方々。久しぶりに出会った仲間との談笑の時間でもありました。

気持ちよく地域の奉仕活動に参加することで団員のふれあいの場ともなり、地域の皆さんも気持ちよくなり、まさに一石二鳥の奉仕団活動を痛感しました。

平成21年度 ボランティア団体活動実績

昨年度も、地元地域の各種団体の皆様が活動の一環として、奉仕作業にきてくださり、施設内、また外回りをきれいにしてくださいました。

いずみ	みそみ地区老人会（草取り・草刈り） 婦人福祉協議会（窓拭きなど） 民生･児童委員協議会（草取り・草刈り）
五湖の郷	西田地区民生委員（窓拭き） 婦人福祉協議会（窓拭き・草取り） 日赤奉仕団（草取り・草刈り）

その他、事前にボランティア登録をしてくださっている方々に、デイサービスの日中活動において送迎運転や入浴時の着脱介助、レクリエーション、お話相手などいろんな活動でお世話になっております。

温かいご支援・ご協力、まことにありがとうございます。

若狭町社協で活動してくださる ボランティア募集のお知らせ

芸達者のみなさん ボランティアしませんか？

各事業所におきまして、歌や踊り、楽器演奏などの発表をボランティアでご披露していただける方を広く募集させていただいております。

個人様、団体様問わず、どうぞみなさんの一芸で利用者様を楽しませてあげてください！！

募集場所：デイサービスセンター
パレア若狭・いずみ・五湖の郷

入浴時の着脱 お手伝いいただけませんか？

＊デイサービスのご利用者様の入浴における着脱のボランティアを募集しています。ご協力いただける方は、是非お近くの事業所までご連絡ください。（入浴時間は午前中です。）

募集場所：デイサービスセンター
いずみ・五湖の郷

五湖の郷からのお知らせです

空き缶つぶし作業

アルミ缶回収にご協力ください

～障がいデイサービス～

現在、障がいデイサービスでは、午後からの活動でアルミ缶の「缶つぶし」作業をしています。

① 利用者の方や職員などから空き缶を持ってきていただきます。
② 汚れている物はきれいに洗って乾かします。
③ 空き缶を一つずつ専用の機械に入れて平たく潰します。
④ 大きなビニール袋に入れて保管します。
⑤ 一定量がたまったところで、リサイクル工場に持っていき、引き取ってもらいます。

作業工程も多く、みんなで取り組める作業ですが、季節によっては空き缶の数が少ない時期もあります。

そこで・・・
年間を通して継続できる作業にしたいと思っておりますので、お近くの方はぜひ、五湖の郷までお持ちください！！

畑の作業

不用になった農作業用具がありましたらお譲りください

利用者の園芸療法的な活動として、施設に隣接する畑でボランティアの方々のご協力により野菜などの作物を作っています。

たくさん収穫できれば工賃を得られるような作業になるよう活動しています。しかし、現在当事業所では農作業にかかる用具や機械類などが何もない状態で、ボランティアの方々に持ち寄ってもらって作業しています。

そこで・・・
ご自宅で余っている用具などございましたら、ぜひお譲りいただけませんか。
地域のみなさまのご支援をお願いいたします。

五湖の郷館内で使用されているキャラクターです。

～ケアホーム五湖の郷よりお知らせ～

昨年10月より、自立支援法の制度改正があり、ケアホームの入居対象者が、**知的障害者の方および精神障害者の方**に加えて、**65歳までの身体障害者の方**もご入居可能となりました。ケアホーム五湖の郷も、知的障害者の方および身体障害者の方がご利用できるようになりましたのでお知らせいたします。

（お問い合わせは　ケアホーム五湖の郷　担当：吉田まで）

3分でわかる介護 Vol.9

３分でわかる介護は、できるだけ家庭での介護負担を軽減できればと思いシリーズ化しています。

脱水予防編

脱水とは？

体から排出される水分量（１日約２ℓ）が増えたり、摂取する水分量の不足によって体内の水分が正常値（成人では体重の約６０％、高齢者では体重の約５０％）より１０％程度減少した状態を指します。特に高齢者は水分貯留量が成人よりも少ないだけでなく、疾患等による尿量の増加、乾きを感じる神経の働きが鈍くなっている等の原因から脱水になりやすくなっています。

知っ得

脱水状態になるとどうなるか？

血液がドロドロになり細い血管につまり、脳梗塞や心筋梗塞を引き起こします。

脳梗塞は寒い時期だけでなく、脱水を起こしやすい夏にも多く発症するのもそのためです。

脱水のサイン、見分け方

・尿の回数、量が少ない。濃い尿が出る。
・夏でも脇の下が渇いている。

・皮膚がかさつく。皮膚をつまんだらシワが戻らない。
・口の中がネバつく。唇や舌がかさつく。
・食事の量が減り、好物にも食が進まない。
・いつもより元気がなく、ぼんやりしている。言葉もはっきりしない。
・爪の先を指で軽く押して、２秒たっても赤みが戻らない。

なるほど

脱水予防

水分は食べて1ℓ、飲んで1ℓを目安に補うようにしましょう。

・スポーツドリンクは体内に水分を吸収しやすく脱水予防に有効です。
（心臓病や腎臓病等でカリウムやナトリウム等を制限している方は注意が必要です）
・トイレに行くのが嫌だと水分を控える方は、食事の時に煮物、汁物等、おやつの時にゼリー、果物等で水分を摂ってもらいましょう。
・お茶、紅茶、コーヒーは利尿効果があるため、飲みすぎに注意。

こんな時は脱水に注意

・熱、咳、たんがでている。
・利尿剤を飲んでいる。
・嘔吐、下痢をしている。

高齢者の脱水は自覚症状がなく、見つけにくいのがさらに危険なものにしています。介護者は普段から十分に水分を摂っているかよく観察することが大切です。

心臓病や腎臓病などによる飲水量の制限のある人は別ですが、制限のない人は、毎食後等、定期的な水分補給をすると脱水が予防できます。

～若狭町斎場からのご案内～

若狭町斎場は、昨年４月より若狭町から委託を請けて若狭町社会福祉協議会が運営をいたしております。本年４月より霊柩車（無料）の運転業務も若狭町社協が委託を請けることとなりました。また、社会福祉協議会マイクロバスでの無料送迎サービスも行っております。

若狭町斎場は、故人様の安らかな眠りを祈るにふさわしい、格調高い厳粛な雰囲気の建物に、広々としたゆとりの待合スペースを有し、設備は、環境と安全に配慮した最新のシステムを導入、火葬炉2基、動物炉1基を保有しております。待合ロビーや待合室も充実しており、大切な方を心静かに偲ばれながらご収骨までのお時間をお待ちいただけます。

当斎場では、ペットの火葬も受付けております。大切なペットとのお別れの際、ご希望の場合はお骨をお返しいたしますので、お申し付け下さい。

大切な方の人生の終焉にあたり、ご遺族様が心静かにお見送りできるよう、スタッフ一同心を込めてお手伝いさせていただきます。

直接お電話でご予約下さい。

若狭町斎場　0770-45-1701
受付携帯　090-5172-3293

*受入時間は９時～16時まで（動物受入は１７時まで）となっております。
*ご予約は、業務時間外も年中無休で受付ております。

苦情受付をしております。

若狭町社会福祉協議会では、皆様から寄せられた苦情について、誠意を持って適切な対応に努め、その解決にあたります。

①苦情は面談、電話、書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。なお、直接申し出にくい場合は、第三者委員に直接申し出ることもできます。

②苦情受付担当者は、受け付けた内容を、苦情解決責任者に報告します。
苦情解決責任者は第三者委員に報告します。（申し出人が報告を拒否した場合は除きます）第三者委員は内容を確認し、申し出人に報告を受けたことを通知します。

③苦情解決責任者は申し出人と誠意をもって話し合い、苦情解決に努めます。その際、申し出人は、第三者委員の助言や立会いを求めることができます。

④若狭町社会福祉協議会で解決できなかった場合、また直接外部の相談機関に相談したい場合は、若狭町福祉課、福井県社会福祉協議会運営適正化委員会に申し立てることができます。

平成２１年度（平成２１年４月～平成２２年３月）に若狭町社会福祉協議会が業務の中で受けた苦情・要望・件数については下記のとおりです。

分　類	件　数
支援内容や職員に対する苦情	15件
社会福祉協議会に対する苦情	5件
要望や希望と思われるもの	3件

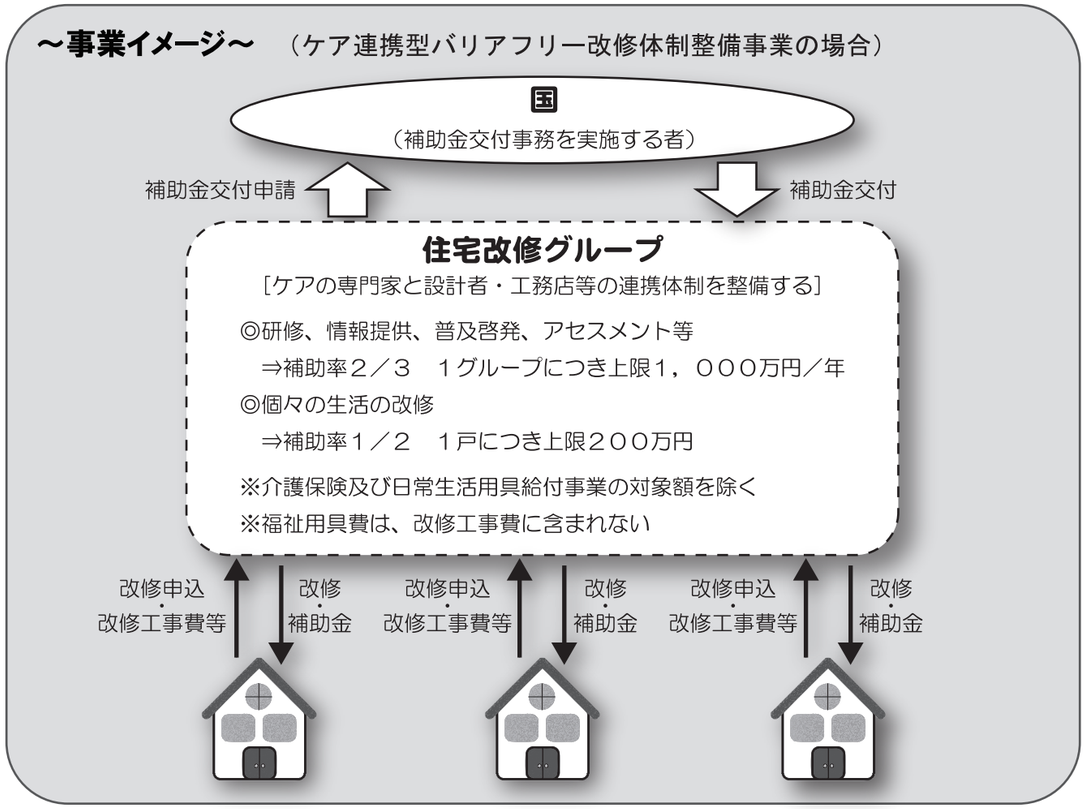
以上２３件の貴重なご意見をいただき、すべて解決しております。ありがとうございました。

若狭町社会福祉協議会では実施している事業について、ご利用者様やご家族の皆様、住民の方々の苦情（ご意見）を真摯に受け止め、さらなるサービスの質の向上を目指していきます。

高齢者等居住安定化推進事業のお知らせ

国（国土交通省）では、高齢者世帯や要介護者等の増加、障がい者の地域生活への移行や待機児童の増加等に対応し、高齢者、障がい者及び子育て世帯が安心して生活することができる住まい・住環境の整備により、その居住の安定確保を推進するとともに、地域の活性化等を図ることを目的として、「高齢者等居住安定化推進事業」を創設しました。この事業は、国が民間事業者等から提案を受け、予算の範囲内で一部費用を直接補助するものであり、期間を定めて募集しています。

次回の募集については、平成２２年８月以降を予定しています。



事業提案の募集要領などの詳細については、次のリンク先をご参照ください。

①国土交通省のホームページ
http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000002.html#koureisha-suishin

②専用ウェブサイト
http://iog-model.jp/

看護師・ヘルパー募集中！

若狭町社協では訪問看護・ホームヘルプサービスで一緒に楽しく働いていただけるスタッフを募集しています。詳しい募集内容については、下記ご連絡先までお問合せ下さい。

若狭町社会福祉協議会　法人本部
TEL：０７７０－６２－９００５

やさしさをありがとうございました

平成２２年3月1日から平成２２年５月31日までに「社会福祉事業に役立てて下さい」と下記の方々よりご寄付をいただきました。

（敬称略・順不同）

福祉基金

下吉田　石戸　晃	300,000円	匿　名	8,000円
安賀里　橋本　達也	300,000円	匿　名	50,000円
敦賀市　三宅　玉夫	100,000円	匿　名	50,000円
鳥　浜　清水　善典	200,000円	匿　名	50,000円
佐　古　三宅　花枝（俗名）	100,000円	匿　名	1,425円
井ノ口　竹村　喜千雄	100,000円	匿　名	1,425円
日　笠　河原　千枝	100,000円	匿　名	50,000円
南前川　前　長廣	200,000円	匿　名	50,000円
新　道　西野　信治	300,000円	匿　名	100,000円
佐古常徳寺仏教婦人会	15,000円		
昭和17年十村小学校			
卒業同級会	50,000円		

物品預託

佐　古　三宅　花枝（俗名）	介護用品
三　方　清水　三郎	介護用品
相　田　藤原　平太	食材
三　方　石田　照子	衣類等
上　野　石井　謹吾	食材
井ノ口　松宮　いと	食材
みそみ小学校	米
西田女性の会	タオル
みそみ女性の会	タオル・石鹸
匿　名	シップ薬
匿　名	事務用品

物品寄贈

田井野　渡辺　富男（俗名）　血圧計、パルスオキシメーター、下足棚
（五湖の郷にて使わせていただきます。）

お詫び

前号でご寄附のご報告について未掲載がありましたので、ここにご報告申し上げ、お詫び申し上げます。

福祉基金

三　宅　辻　善市	100,000円	三　方　石田　真	200,000円
川崎市　佐久間　宏	100,000円	匿　名	10,000円

預託や寄付いただいた物品は、地域や若狭町社会福祉協議会にて有効に使わせていただきます。上記以外にも多くの方々より、使用済み切手やエコキャップ等のご寄付をいただきました。

車庫新設 ～地域福祉センター泉～

このたび、設備整備のためにとお寄せいただいた寄付金を活用し、地域福祉センター泉に福祉車両９台を入庫できる車庫を新設させていただきました。

ご寄付いただいたみなさまのご厚志に感謝し、今後ますます充実した福祉サービスの提供に努めてまいります。心よりお礼申し上げます。